

100kW級燃料電池スタックの発電試験

実機を想定した大容量燃料電池スタックの発電試験を受託し、お客様のスタック開発事業をご支援します

背景

燃料電池を活用した移動体カテゴリの大型・商用モビリティ(HDV)への拡大

- 世界におけるカーボンニュートラル実現に向け、燃料電池は地球温暖化問題解決のキーテクノロジーとしてさらなる普及が期待されています
なかでも運輸部門のCO₂排出削減が重要な役割を担っており、実用化されたFCVの技術を用いて、トラックを代表としたHDVへの拡大が進められています

出典 NEDO:FCV・HDV用燃料電池ロードマップ2025年3月参照

- HDVの本格普及に向け、燃料電池スタックの大型化を検討するにあたっては、発電による発熱の影響など、より実機レベルでのスタックの検証が必要となります



各種アプリケーションに活用



出典NEDO : 水素技術開発ロードマップ 参照

100kW級試験装置の発電試験

最大100kWの発電試験に対応、HDVを見据えた大容量燃料電池の開発をご支援

100kW級試験装置を導入(26年4月リリース)



装置仕様

項目	仕様
アノードH ₂ 流量	20~1000NLM
アノードN ₂ 流量	5~250NLM
カソードAir流量	56~2800NLM
冷媒流量	20~100L/min
ガス温度制御	R.T+10~100°C
露点温度制御	40~90°Ctd
冷媒温制御	40~80°C
圧力制御	~300kPaG
負荷電流	~400A

小型燃料電池スタックの評価で培った技術をもとに、ガス・冷媒の流量や制御温度、露点温度、制御圧力とともに、負荷電流を含めて幅広い条件に対応できる仕様としています

一緒なら、
見つける
答えがある。

KRI
Your Innovation Partner

株式会社KRI
fc_kri@ml.kri-inc.jp



日本語版